



ダンゴムシはだっ皮するの

だっ皮しないと大きくなれない

ダンゴムシは、よろいのようなこうらを、体の外側につけています。そのため、だっ皮をしないと大きくなれません。一生の間に、5～6回だっ皮します。

ダンゴムシと同じ仲間になる、エビやカニも、だっ皮して大きくなっていきます。

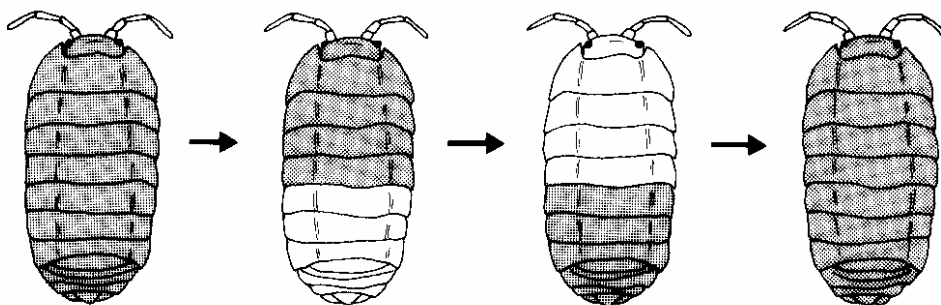
2回に分けてだっ皮する

ダンゴムシのだっ皮は、ちょうど、人間がズボンとセーターをぬぐような形で行われます。おなかの真ん中あたり(胸の4節と5節の間)から割れて、まず、しっぽの方の半分が、少しずつはがれていき、下からねん液でぬれた、白っぽい体が現れます。時間がたつにつれ、体は黒く、かたいこうらにかわっていきます。18時間ぐらいすると、こんどは、体の頭の方の半分が、はがれていきます。

なぜ、2回に分けてだっ皮するのか、はっきりした理由は、まだ、わかっていません。

はがれた古いこうらは、白いやわらかいもので、ダンゴムシは、だっ皮が終わると、この古いこうらを食べてしまいます。(監修・中山 周平)

2回に分けてだっ皮するダンゴムシ



うしろ半分をだっ皮

前半分をだっ皮

全身が新しくなった

